



1年生

「いのちって何だろう」 D-19 生命の尊さ

医者として働く徳永進さんは、中学時代の入院生活とマラソン大会での優勝という経験から、人体にはいろいろな力が秘められていることに気づきました。生徒たちは、「命とは何か」、「命の尊さを守るために何を大切にしていきたいか」という問いに対して、さまざまな視点から考えました。

【生徒のまとめより】

今、自分が健康に過ごせていることや、与えられた命に感謝して一生懸命に生きていきたいです。

みんなが大切な命を持っているから、自分だけでなく他の人の命も守れるように接し方に気をつけて過ごしていきたい。

命はみんな平等で、自分の勝手にならないものだからこそ、大切にしていきたいなと思いました。

命が大切ということは分かっていたけど、話を読んで、小さなことでも丁寧に向き合うことが、命を守ることにつながっていくのかも思った。



3年生

2学期の道徳の授業を振り返って

みなさんは今学期の道徳の授業で、どんなことを学びましたか？ 今までたくさんの教材を通して、クラスメイトと対話をしたり、自分自身の経験を振り返ったりして、学びを深めてきましたね。3年生が2学期の道徳の授業で学んだことや今後の授業について考えたことを紹介します。

＜学んだこと＞

自分の価値観が他の人も一緒だと限らないので、相手の意見を聞くことが大切だと学んだ。

受験生である今だからこそ、諦めないことの大切さや挑戦することの偉大さを学ぶことができた。

自分の行動や発言でどのような責任がうまれるのかについて気付くことができた。

誰かを助けることができなくても、協力してあげたらいいということを学んだ。

＜今後の授業に向けて＞

最初感じたことだけでなく、友達の意見と比べて、自分の考えを深めたり広げたりしたい。

自分の本音を語ったり、自分の弱い部分と向き合ったりして、意見を出していきたい。

お話に出てくる人と実生活を重ね合わせて、自分の考えを持てるようになりたい。